

高まる若者の県内定着率

熊本県においては、とくに40年代後半に入ってから、雇用力の大きい企業の立地が活発になり、これによって県の就業構造も2次、3次産業へ吸収されてきています。

このような状況の中で、かつて見られた農山漁村からの若い労働力の県外流出はしだいに減ってきており、新規学卒者の県内定着率も年々向上しています。



県経済のあらまし

